

平成29年度 市長への提案メール

たくさんのご提案 ありがとうございました！

この提案・回答集は、3つのテーマ 「①北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくり ②人口減少対策（子育て支援・産業振興）③市庁舎の整備」の中からいただきましたご提案の中で、回答の掲示を希望されたものについて、テーマごとに要約・抜粋し掲載しています。

いただきましたご提案については、テーマ以外のご提案や回答の掲示を希望しないと回答されたものを含め、私自身全て目を通させていただき、また、各課に通知し、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

敦賀市長 淵上隆信

※住所・氏名など個人情報及び公序良俗に反するものや誹謗中傷、個人的なもの、テーマ以外のご提案については掲載しておりません。

目 次

①北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりについて

- ・金ヶ崎周辺の整備について
- ・海に関する観光について
- ・歴史的な宝の掘り起こしやPRについて
- ・観光地の整備やPRについて
- ・敦賀駅前や商店街の活性化について
- ・広域観光について
- ・環状交差点の整備について

②人口減少対策（子育て支援・産業振興）について

- ・一時預かり保育について
- ・保育料について
- ・保育園の入園基準について
- ・病児保育施設の設置について
- ・学童保育（松原児童館）について
- ・松原公民館の利用について
- ・小学校の体育大会について
- ・体育館の利用について
- ・敦賀マラソンの開催について
- ・市内バス料金の見直しについて
- ・EV（電気自動車）関連会社の誘致について
- ・メタンハイドレード関連会社の誘致について

③市庁舎の整備について

- ・新市庁舎の建設地について
- ・耐震改修について
- ・新市庁舎の構造や機能について

①北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりについて

■金ヶ崎周辺の整備について

- ①・敦賀港線にSLや手漕ぎのトロッコを走らせてほしい。
- ・敦賀港線の線路を外し整備してサイクリングコースや歩道にしてほしい。

【回答】

敦賀港線の利活用については、平成24年に策定した「金ヶ崎周辺整備構想」における最終的な整備の形として記載されておりますが、北陸新幹線敦賀開業を見据えて、金ヶ崎周辺の賑わいづくりのためにも検討する必要があると考えております。また、市内の活性化と観光客へのおもてなしを検討しており、いただいたご提案は、具体的な方策としてぜひ参考にさせていただきます。

しかし、この事業の実施にあたっては、敦賀港線を所有するJR貨物や福井県などと十分な連携を図る必要があり、本市単独で進めることは非常に難しいと考えられます。

また、列車等の運行やサイクリングコース等の整備にあたっては、線路沿線エリアの景観整備、終着駅である金ヶ崎周辺の魅力づくりを併せて実施することが必要不可欠であると認識しております。

そのため、平成29年5月に、金ヶ崎周辺全体の魅力向上と施設整備の方針を検討するため、金ヶ崎周辺施設整備計画策定委員会を設置し、議論を深めているところです。

市民の皆様の意見を十分にお伺いし、進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご意見をいただきますようお願いいたします。

(担当課：新幹線まちづくり課)

②金ヶ崎緑地等に展望台を作ってほしい。

【回答】

展望台の設置については、平成24年に策定した「金ヶ崎周辺整備構想」に設置の計画はなく、既存の金ヶ崎公園（天筒山山頂）の展望台や金崎宮、鷗ヶ崎などから金ヶ崎周辺を見渡すことが可能であるため、そこを金ヶ崎緑地の視点場として検討し、活用していきたいと考えております。

市民の皆様の意見を十分にお伺いし、進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご意見をいただきますようお願いいたします。

(担当課：新幹線まちづくり課)

③金ヶ崎緑地の測道（トンネル入口上部）に屋台村を作ってはどうか。

【回答】

平成24年に策定した「金ヶ崎周辺整備構想」に屋台村の設置の計画はなく、飲食物販機能、海辺のカフェ等の設置が記載されております。平成29年5月に、金ヶ崎周辺全体の魅力向上と施設整備の方針を検討するため、金ヶ崎周辺施設整備計画策定委員会を設置し、議論を深めているところです。

市民の皆様の意見を十分にお伺いし、進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご意見をいただきますようお願いいたします。

(担当課：新幹線まちづくり課)

④人道の港について杉原千畝氏に特化してお金を投入するのは限界がある。

【回答】

「金ヶ崎周辺整備構想」の実現に向けて、平成29年5月に、金ヶ崎周辺全体の魅力向上と施設整備の方針を検討するため、金ヶ崎周辺施設整備計画策定委員会を設置し、議論を深めているところです。

同委員会には、「人道の港敦賀ムゼウム機能拡充検討部会」という専門部会を設置して、人道の港敦賀の機能拡充に特化した議論、調査を実施しております。また、北陸新幹線敦賀開業に向けて、地域資源の掘り起こしや、市民の皆様と観光資源の磨き上げに関するワークショップを実施し受け皿づくりを行っております。

人道の港については、杉原千畝氏が発給された命のビザに基づくエピソードだけでなく、ポーランド孤児の敦賀港上陸等、様々なエピソードが存在いたします。まだ我々が知らないものも存在すると考えており、「人道の港敦賀ムゼウム」のさらなる展示方法等機能拡充を検討しており、その施設については、景観まちづくり刷新事業で整備する復元4棟を活用する方針としております。

いただきましたご意見を参考とさせていただき、費用対効果の視点も踏まえて、今後の事業展開を進めてまいります。

(担当課：新幹線まちづくり課・人道の港発信室)

■海に関する観光について

①敦賀湾を周遊する遊覧船を運航してほしい。

【回答】

いただきましたご提案は、観光振興策を検討する上で非常に参考になるものと考えますが、観光遊覧船の運行の実現には、法律上の手続きや船舶等の経費、操縦士の確保等、様々な課題があります。本市としては、観光振興のための受け皿づくりを推進する中で、民間主導での開発事業にその支援を行う方向で対応したいと考えております。

(担当課：観光振興課)

②海が間近にあるため、海のレジャーの誘致をしてほしい。

【回答】

日本三大松原の下、海水浴が楽しめる「気比の松原海水浴場」や、北陸のハワイと呼ばれる「水島」をはじめ、敦賀には多数の海水浴場があります。毎年7月、8月の海水浴シーズンになりますと、県内外から多くの観光客の方が訪れ、大いに賑わっております。また、船釣りや釣りいかだなど提供している旅館、民宿もあり、季節、年齢を問わず多くの観光客の方々に楽しんでいただいております。

このような美しい海を貴重な観光資源として捉え、より広く県内外の方にPRしていく必要があると認識しております。今後も、観光協会をはじめ民間の事業者と連携しつつ、より一層のPR、観光客誘致に努めてまいります。

(担当課：観光振興課)

■歴史的な宝の掘り起こしやPRについて

①鞠山藩邸の関所等を復元してほしい。

【回答】

鞠山藩邸については、現在おおよその位置及び建物の規模等が絵図などから判明しておりますが、復元に耐えるだけの情報はそろっておりません。また、かつて陣屋の敷地であったと思われる範囲についても神社や宅地となっており、用地確保の観点からも復元は難しいものと考えます。

今後も折に触れて調査を行い、その成果を市民の皆様にお知らせしてまいります。

(担当課：文化振興課)

②金ヶ崎城や敦賀城、大谷吉継等の敦賀の歴史的背景に目を向け、整備をし、積極的にPRをしてほしい。

【回答】

市の歴史資源は、国の文化財に指定されるなどその価値を高く評価されているものが多く、「敦賀市再興プラン」の中でも、敦賀の地域資源を新幹線開業に向けた受け皿として活かしていくことを基本的な方向性と定めております。

こうした中、柴田氏庭園の保全整備事業をはじめ、各種整備事業に着手しており、その他の歴史資源についても今後順次保存・活用策を検討してまいります。今後も、歴史資源の活用に必要な調査研究を着実に進め、成果や価値を市民の皆様と共有してまいります。

金ヶ崎城については、織田信長が浅井の離反により窮地に陥り、木下藤吉郎を^{しんがり}殿に撤退した逸話は、「金ヶ崎の^{のきくち}退き口」のエピソードとして観光パンフレットや出向宣伝等でPRしてきたところです。しかし、このエピソードの舞台が敦賀であるということについては、まだ十分に知られていないため、これからもより一層のPRに努めていきます。

また、敦賀城や大谷吉継等については、これまでも博物館での特別展や「吉継カフェ」の開催、パンフレット制作、スタンプラリー等イベント開催、ゆかりの自治体への出向宣伝、歴史雑誌への広告出稿、敦賀市公認キャラクター「よっしー」のLINEスタンプの販売などを通じてPRを行っております。今後も引き続きPRに努めるとともに、敦賀を訪れた方にゆかりの地を楽しんでいただけるような取り組みを行ってまいります。

(担当課：文化振興課・観光振興課)

③松尾芭蕉のゆるキャラを作る等おくのほそ道風景地のPRをしてほしい。

【回答】

松尾芭蕉をモチーフにしたゆるキャラについては現在、「バショさん」を敦賀市公認キャラクターに認定しております。

「バショさん」については、まだ着ぐるみはありませんが、関連事業においてイラストを活用したPRに努めております。

また、全国のおくのほそ道風景地を巡るスタンプラリーに参加し、「けいの明神」として気比神宮がスタンプ場所になるなど、他のゆかりの自治体との連携した企画も実施しており、今後もより多くの方に「バショさん」やおくのほそ道風景地としての敦賀を知っていただけるよう広報活動に努めてまいります。

(担当課：観光振興課)

■観光地の整備やPRについて

①観光地のトイレやバス停について、外観はランプ小屋やレンガをイメージしたものとし、子どもや高齢者、外国人等に配慮したものに整備してほしい。

【回答】

観光地のトイレについては、子どもや高齢者、外国人等様々な方が訪れるため、誰もが安全に利用できるトイレの整備が不可欠であり、訪れた方に気持ち良く観光地をお楽しみいただくため、その重要性を強く認識しております。

しかし、老朽化やバリアフリー対策など、現在整備が行き届いていない部分があることも認識しております。今後とも、皆様からいただいたご意見を参考に、景観にも配慮しながら観光地の満足度向上を目指し、改善に努めてまいります。

(担当課：観光振興課)

市内乗合バスの停留所標識については、現在、コミュニティバス、ぐるっと敦賀周遊バスそれぞれの標識に「銀河鉄道999」の画像を用いたデザインを使用しており、観光客の方に好評いただいております。今後もこのデザインを継続していく予定ですが、北陸新幹線敦賀開業に向けた二次交通対策の中で、停留所についても再度検討を進める予定であり、その中で、ご提案の赤レンガ倉庫をイメージしたデザインについても参考とさせていただきます。

また、停留所の外国語表記につきましては、現在、ぐるっと敦賀周遊バスにおいて英語表記での記載をしておりますが、他国言語の表記やコミュニティバスでの導入などについても検討いたします。

(担当課：生活安全課)

②観光客の誘客と市民の健康増進のため、敦賀3山（野坂山・西方ヶ岳・岩籠山）を市内外にPRしてほしい。

【回答】

野坂山、西方ヶ岳、岩籠山など敦賀の山には、毎年四季を問わず、県内外から多くの登山愛好家の方が訪れており、市役所にも市内の天候、山頂までの時間、登山道の積雪状況などの問い合わせを多くいただいております。

このように、年間多数の登山客が訪れる敦賀の山々が、観光資源となるような工夫、PR等の方法について協議してまいります。

(担当課：観光振興課)

③観光客を呼び込むため、気比の松原の整備をしっかりとすべきである。また、金ヶ崎周辺と松原をセットにPRしてはどうか。

【回答】

気比の松原は、県内外から多くの観光客が訪れる敦賀市を代表する観光地の1つです。今後、夏場だけではなく、より多くの観光客の方にお越しいただく工夫が必要であると認識しております。

気比の松原の魅力は白砂青松といった美しい景観であり、市民の皆様だけでなく、多くの観光客に安全で快適な「気比の松原」を楽しんでいただけるよう、環境美化に勤めてまいります。

また、従来の観光案内所に加え、昨年より臨時案内所を増設し、敦賀観光協会の運営により、金ヶ崎をはじめとする敦賀市の観光地の紹介をしております。松原を訪れた観光客の方に金ヶ崎にも足を運んでいただけるようなPRに取り組む等、市内を周遊していただく仕組みづくりに取り組んでまいります。

(担当課：観光振興課)

■敦賀駅前や商店街の活性化について

①敦賀駅舎のデザインをオルパークと続くような形で建設してはどうか。

【回答】

平成34年度の北陸新幹線敦賀開業に向け、新たに建設される新幹線駅舎を含めた駅周辺の整備を行うため、デザインコンセプト「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」により、関係機関と協議を進めているところです。

現駅舎につきましても、JRにより平成24年度に駅舎のバリアフリー化工事や駅のホームをまたぐ跨線橋の整備を行い、利便性等の向上を図りました。

現駅舎についてはJRの所有となりますが、新幹線開業を見据え、より一層のおもてなしができる駅及び駅周辺を作り上げていくため、いただいたご提案を、機会を捉えてJRに伝えたいと思います。(担当課：新幹線整備課)

②オルパークは多くの方が利用して活性化につながっている。

【回答】

オルパークについては、オープン4年目を迎え、2階多目的室などレンタルスペースの、市民の皆様によるイベントの開催場所としての安定した利用や、1階の駅利用者の方々の待合場所としての利用など、敦賀の玄関口としての役割を十分に果たしていると認識しているところです。

今後とも市民の皆様や市外から来られる方々にもオルパークを快適に利用していただけるよう、また、平成34年度の北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市の玄関口として魅力のある施設となるよう一層取り組んでまいります。

(担当課：新幹線整備課)

③シャッター街である商店街を充実させ、活性化する施策を検討してほしい。
また、相生町の清明の朝市を氣比神宮や駅前通りで開催してはどうか。

【回答】

商店街の空き店舗については、従前より敦賀市だけの問題に限らず、全国的な問題となっております。敦賀市においても人々のライフスタイルの変化や商店経営者の高齢化などにより商売をやめられて、空き店舗となりシャッターを閉める店舗が多く見られるのが現状です。

このような中、少しでも商店街を盛り上げるために、博物館通りの清明の朝市以外にも、本町通りから神楽町1丁目通りにかけて行われている百縁笑店街や駅前ふれあい市等地元商店街が中心となって盛り上げているイベントが行われております。

市といたしましては、少しでも空き店舗を解消し、有効活用できるよう活動を支援するとともに、地域の賑わい創出や商店街での創業に対する補助、地域資源を活かした商品開発、アーケードの維持管理に対する補助等、様々な形での支援を行っております。市民の皆様がこの問題に関心を持っていただき、様々なご意見をいただくことが、解決への重要な力になるものと考えております。

(担当課：商工貿易振興課)

④商店街を活性化させてから、国道8号の2車線化に取り組むべきではないか。
災害時や降雪時は片側2車線が必要である。また、現在の駐車場を有料にして市の収入を増やしてはどうか。

【回答】

国道8号道路空間整備（国道8号2車線化）については、本市の主要観光エリアへの誘導起点となる敦賀駅周辺エリアから、氣比神宮周辺エリア、さらに敦賀港周辺エリアへ向かう国道8号本町区間を、楽しみながら回遊できる歩行空間とすることを目的に実施するものです。単に車道を4車線から2車線に減車線化することが事業の目的ではなく、道路空間の再配分によって創り出された空間を活用して「まち」全体の魅力を高め、いかにして賑わいづくりに繋げていくかということを第一義に、市役所と地元商店街をはじめ沿線住民の方々など官民一体となって進めております。

災害時や降雪時などの際は、本町区間の前後が既に2車線になっていること、また、空間整備を行っても実際は右折レーンや路肩等が必要になるため、現在の車道幅員から大きく減少する計画にはならないことから、緊急時においても影響はないものと考えております。

駐車場の有料化のご提案については、元来、駐車場ではなく荷捌き場として位置付けていることから、有料の駐車場とすることは困難であります。

なお、今後とも、沿線住民の方々や関係機関と協議しながら、事業を進めていきたいと考えております。

(担当課：都市政策課)

■広域観光について

①北陸新幹線敦賀開業は嶺南全市町にとって地域振興のチャンスであり、全市町をあげて取り組む必要があるのではないか。

【回答】

嶺南地域一帯での観光の取組みとして、これまでも、合同で旅行会社との商談会の実施や、レンタサイクル等2次交通で連携を図り、嶺南への誘客を促す事業を展開しております。引き続き、嶺南各市町と十分協議を重ねながら、それぞれの市町に存在する素晴らしい観光資源を点ではなく面で捉え、この絶好の機会を逃すことのないよう努めてまいります。

(担当課：観光振興課)

②敦賀から小浜に向け、本町第3公園にある蒸気機関車を走行させてほしい。

【回答】

北陸新幹線敦賀開業に向け、市内の活性化と観光客へのおもてなしを検討しており、ご提案いただいた敦賀駅から蒸気機関車を走らせるということに関しては、具体的な方策としてぜひ参考にさせていただきます。

しかし、本町第3公園に設置されている蒸気機関車については、製造から70年以上が経過しており、老朽化が著しく、走行可能な程度に修復することは極めて困難です。

観光誘客事業のため、小浜線の活用も1つの課題であり、観光列車の走行等あらゆる活用方法の検討が必要であると認識しています。

(担当課：新幹線まちづくり課・観光振興課)

③開業初日限定で、「福井の子ども達の夢を書いたラッピングE7号（北陸新幹線）」を走行させてほしい。

【回答】

E7系北陸新幹線にラッピングを施すというご提案については、福井県及び敦賀市の子供たちにとって思い出に残る素晴らしい企画案だと考えられます。

その実現に向けては、車両所有者であるJR西日本や東日本との協議が必要になり、かかる費用とその効果の検証を十分に行う必要があります。

新幹線開業の機運を盛り上げるためのご提案の一つであると考え、機会を捉えて所有者であるJRに伝えてまいります。

(担当課：新幹線まちづくり課・新幹線整備課)

■環状交差点の整備について

白銀町、昭和町、気比神宮前等の交差点は、変則交差点で見通しが悪く、常に渋滞しているため、環状交差点として整備してほしい。

【回答】

環状交差点とは、一般的な十字型の交差点と異なり、円形の平面交差点で、交差点内の環道を時計回りの一方向に通行する形状の交差点です。

日本では平成20年頃から導入が始まり、平成26年の改正道路交通法において運用が開始されました。

ご提案にある3交差点につきましては、国・県の管理する道路の交差点となっており、導入に当たっては各管理者及び警察との協議が必要となりますが、環状交差点は、交通量（車両・歩行者）が一定量以下の交差点での導入が望ましいとされており、この3交差点への導入は難しいと考えております。

全国的にも整備された交差点の約8割が住宅街もしくは郊外といった交通量の比較的少ない交差点であり、福井県内でも美浜町の住宅街の1箇所となっております。

今後も他自治体の導入事例を注視しながら、交差点の改良案の1つとして参考にさせていただきます。

(担当課：道路河川課)

②人口減少対策（子育て支援・産業振興）について

■一時預かり保育について

予約の電話をしても満員だと言われ受け付けてもらえない。使いやすいシステムにしてほしい。

【回答】

一時預かり保育については、公立1園、私立6園の7か所で実施している事業ですが、各園の状況によっては、定員も少なく、空きのない時もあり、利用が難しいことがあります。

なるべく多くの方にご利用いただくために、申し込み方法の見直し等を各保育園、子育て総合支援センターと協議をしております。

また、子育て総合支援センター「利用者支援窓口」は、保護者の方のニーズをお聞きし、利用可能な施設等につなぐ役割を担っております。一時預かりについても、申し込みができずお困りの場合には、子育て総合支援センターにご相談ください。電話やメールでご相談いただくこともできます。

保育園の一時預かりの他に、敦賀市シルバー人材センター内 託児所「たんぼぼ」と、NPO法人子育てサポートセンターきらきらくらぶ「きらりんる一む」で実施しております一時預かり事業（すみずみ子育てサポート事業）もあります。こちらもご利用ください。（担当課：児童家庭課）

■保育料について

現在、保育園に2人入園しており、下の子どもの保育料が多子軽減で半額であるが、上の子どもが卒園すると軽減がなくなってしまう。保育料は高額であり、上の子どもが卒園しても保育料を半額にしてほしい。

【回答】

保育園等の保育料については、保護者の方の所得状況、市町村民税の課税状況により、国の保育料基準に基づきながら、敦賀市ではその約7割の水準で設定をしております。それぞれの市により、保育料の保護者世帯の階層区分の設定に違いがあるため、単純に比較はできませんが、県内各市の保育料と比較しても、決して保育料が高い訳ではありません。

ひとり親世帯等については、階層区分によって、保育料の軽減措置があります。また、低所得の多子世帯についても、階層区分によって、第2子以降について、第1子が卒園しても保育料の軽減措置があります。

なお、階層区分に関係なく、保育園に同時入園しているお子さんの第2子の保育料を半額、同時入園にかかわらず第3子以降の保育料を無償化する「すくすく保育支援事業」を実施しております。（担当課：児童家庭課）

■保育園の入園基準について

妊娠中、上の子どもの入園申請の際、「育児休暇中の入園は出来ず、育児休暇取得後は退園してください。幼稚園の入園を考えてみては。」と言われた。子育てと仕事の両立ができるよう入園基準を見直してほしい。

【回答】

敦賀市には、お子さんをお預かりする施設として、保育園、幼稚園、認定子ども園があります。

保育園については、就労や疾病等により、保護者の方がお家で保育出来ない場合に、保護者の方に代わって保育を行う施設となっております。保護者の方が育児休暇取得中の場合は、お子さんをお家で保育出来ない状態ではないと考えられます。ただし、既に就労を要件として入園しているお子さんについて、保護者の方が下のお子さんを出産するため育児休暇を取得する場合に、上のお子さんの退園をお願いすることはありません。

幼稚園については、3歳以上のお子さんの就学前の教育の場としての施設となっておりますので、保護者の方の就労等の要件はありません。

また、認定子ども園については、保育園、幼稚園、どちらの入園要件のお子さんでも入園できる施設となっております。

それぞれの施設により、保育認定基準に違いがあることをご理解いただきますようお願いいたします。

(担当課：児童家庭課)

■病児保育施設の設置について

子どもが病気になると何日も仕事を休まなければならない。病児保育施設を設置してほしい。

【回答】

敦賀市では、子ども・子育て支援事業の施策として、平成30年度に病児保育の1か所開設を目標とし、取り組んでいます。

(担当課：児童家庭課)

■学童保育（松原児童館）について

約80人の子どもが、松原児童館を学童保育として利用している。施設は老朽化し狭く、ホールにはクーラーも設置されていないため、別場所で実施する等環境を改善してほしい。

【回答】

松原児童館内に設置しております松原児童クラブには78人在籍しております（平成29年7月1日現在）、夏季休業中は87人在籍しております（平成29年7月31日現在）。事故・怪我のないよう児童館・児童クラブ職員が児童から目を離さないよう心がけております。

ホールへのクーラーの設置は予定しておりませんが、熱中症対策として、外やホールで遊ぶ途中で、水分補給やクーラーのある和室や児童クラブ室で休憩するなどをしており、今年度より新松原公民館を利用し、活動も行っております。

児童館は古い建物で耐震性の心配があるため、平成31年度を目標に建て替えを行う予定です。また、蚊の多い立地であり、児童館の敷地内、館庭では除草を行うなど、児童が安全に遊べるよう心がけております。

市民の皆様が安心して子どもを預けられるよう、よりよい児童館・児童クラブの運営に努めていきます。

（担当課：児童家庭課）

■松原公民館の利用について

私は受験生であり休日も勉強したいと思っているが、学校は市外で、図書館は遠い。近くの松原公民館で地域行事等に使用しないスペースがあれば、自習スペースとして開放してほしい。

【回答】

松原公民館の、ホール、研修室2室、和室2室、ミーティングルーム、調理実習室は、利用頻度が高い状況です。

しかし、松原公民館には、ホール前に公園を見渡せる、明るく広い空間のオープンスペースがあります。机もあり、勉強や読書に利用することができます。また、フリーなスペースであり、費用や使用申込書等は不要となっておりますので、こちらの場所をぜひご利用いただきますようお願いいたします。

（担当課：生涯学習課）

■小学校の体育大会について

市内の小学校の体育大会が同一の日程となっており、教職員等が自分の子どもの体育会に参加できず、家族で昼食を食べられない子どもがいる。体育大会の日程を別々にし、昼食は各教室で子ども達で食べるようにしてほしい。

【回答】

体育大会の日程については、市として統一した日を設定しているわけではなく、各学校により開催日を決定しております。熱中症、練習期間、地区の行事などのことを考慮した場合、開催できる日が限られるため、結果として開催日が重なってしまいました。

教職員が仕事で自分の子どもの体育大会に参加できないということもあろうかと思いますが、他の職業の方でも、そのような状況の方はおられるため、個々の家庭の事情を勘案して、開催日を決定することは、難しいことをご理解ください。

また、体育大会の昼食については、一緒に食べることを楽しみにしている親子もいるため、教室で子ども達で食べることは難しいと考えられます。家族で昼食を食べられない子どもがいる場合、まずは、仲の良い友達の家族と一緒に弁当を食べようをお願いしたいと考えております。

それができない場合は、家族で昼食を食べられない子ども達を体育館等に集めて、教員と一緒に食事をするのができないか検討していきたいと考えております。

(担当課：学校教育課)

■体育館の利用について

雨雪時、子どもがソフトボールや野球の練習のため、体育館に使用をお願いしても許可がおりない。スポンジ等の室内ボールは使用できる等使用可能種目を増やしてほしい。

【回答】

体育館の利用状況については、市民の皆様の活動や、土・日曜日等は競技協会等が行う各種大会等でご利用いただき、団体・市民相互に協力し、譲り合って使用していただいております。

時代の変化とともに運動種目のニーズが多様化し、施設毎の使用可能種目について再検討が求められておりますが、施設の破損等の懸念から開放の実施には至っていない部分もあります。

今後の施設利用については、他市の同種の施設の利用状況等も調査するとともに、競技協会・団体とも協議し、検討いたします。

(担当課：スポーツ振興課)

■敦賀マラソンの開催について

2年連続敦賀マラソンの開催が休止となった。ファミリーの部など学年によっては出場できない場合もあるため開催してほしい。

【回答】

平成29年度は、毎年敦賀マラソンを開催している10月13日から15日に、国体卓球競技のプレ大会である「全日本卓球選手権大会」の開催が決定したことで、敦賀マラソンの実施について主催者や関係団体と協議を重ね休止を決めさせていただきました。

敦賀マラソンは、子ども達の健康増進に大きく関わり、教育的配慮の面からも大切な行事の一つであるため、2年間休止することは、ファミリーの部における親子のふれあいの場をはじめ、子ども達の貴重な経験を減らすことにもなると認識しております。

しかし、50年ぶりに福井県で開催されます「福井しあわせ元気国体」についても、地域スポーツや文化の振興はもとより、地域の活性化を推進するための大きな節目となる一大事業です。敦賀の子ども達には、国体を通じた各種行事への参加をきっかけに、スポーツを継続的に行ってもらうことで、心身の健全な発達や思考力、判断力の成長が期待できるとも考えております。

(担当課：スポーツ振興課)

■市内バス料金の見直しについて

市内バス料金は、小学生は大人の半額、中学生から大人料金である。半額料金の対象者を高校生まで引き上げる等バス料金を見直してほしい。

【回答】

バス料金については、平成21年に市内全ての路線にコミュニティバスを導入した際、距離に応じて金額が上昇する従量制の料金体制から、一律運賃（大人200円、小人100円）の料金体制に見直しました。その他、乗継乗車1回を無料とする乗継券の導入、障害者の方の無料乗車、児童体験乗車として学校の授業等でバスを利用する際の無料化等を実施し、バスに乗りやすい利用環境に努めてまいりました。

この一律運賃を導入したことで、従来に比べ安価な料金でバスを利用することができ、利用の促進につながった一方で、市の経費負担額は非常に大きいものとなっております。

敦賀市としては、この負担額対策や運賃収入、利用者数や各路線の収支率、また、今後の高齢者対策などを踏まえ、今年2月にコミュニティバス再編計画を策定し、10月から1年間の試験運行を実施します。

試験運行は、現行どおりの料金体制で運行をいたしますが、今後、利用者の方々からご意見をお聞きしたうえで、平成30年の本格運行につなげていきたいと考えており、いただいたご提案についても、本格運行検討の際の参考とさせていただきます。（担当課：生活安全課）

■EV（電気自動車）関連会社の誘致について

「水素」を奨励しているが、EV関連会社を誘致してはどうか。

【回答】

敦賀市では、美浜町、南越前町、滋賀県長浜市、高島市、米原市の6市町によって、敦賀港を中心に据えた市域・県域を越えた一体的な経済圏・生活圏の構築（ハーモニアスポリス構想）を目指しており、この構想の基本計画のひとつとして、調和型水素社会形成計画があります。この計画は、「水素」という先進的なエネルギーに注目し、世界に先駆けて水素エネルギー等に関する研究開発や活用・供給拠点を形成していくというものです。

また、ハーモニアスポリス構想は、「水素」の活用のみを推奨しているものではなく、同じく基本計画のひとつである産業間連携推進計画では、各地域の特徴や強みを活かした産業創出を目標としており、エネルギー関連産業のみならず、地域資源を活かした様々な産業が創出されることを目指しています。

なお、田結地区において敦賀市第2産業団地の整備を進めており、並行して企業誘致にも取り組んでおります。同団地は、立地可能な業種が製造業や道路貨物運送業等となっており、EV関連の製造業も対象に誘致活動を行っていきます。

（担当課：ふるさと創生課・商工貿易振興課）

■メタンハイドレート関連会社の誘致について

日本海の海底資源として埋蔵されているメタンハイドレードを採掘・活用する拠点として、産業団地に関連会社を誘致してはどうか。

【回答】

田結地区で整備を進めている敦賀市第2産業団地については、立地可能な業種が製造業や道路貨物運送業等の物流関連産業に限られており、採掘作業の拠点とすることは困難ですが、資源の加工施設や物流施設等であれば立地が可能です。

製造業や物流関連産業を対象に幅広く誘致活動を行っており、メタンハイドレート関連企業のみを対象に誘致活動を行いませんが、引き合いがあれば立地の可能性もあると考えております。（担当課：商工貿易振興課）

③市庁舎の整備について

■新市庁舎の建設地について

- ・現所在地の建替えが良い。
 - ・プラザ萬象敷地や中心市街地の建替えが良い。
 - ・金ヶ崎緑地周辺の建替えが良い。
-

【回答】

新市庁舎の建設地につきましては、平成29年9月を目途に決定することとしておりましたが、6月議会における、「現所在地を建設地として早急に決定し、建替えに向けての手続きを速やかに進めることを求める決議」を受け、現所在地での建替えとすることを決定いたしました。

(担当課：契約管理課)

■耐震改修について

財政難であり、建替えではなく耐震改修で対応すべきである。

【回答】

現市庁舎は、平成23年度実施の耐震診断において、地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が高いとの指摘を受けた未耐震の建物です。

平成24年度から、耐震改修も含めた対応を検討してまいりましたが、改修をしたとしても耐震性や改修後の使用年数が不透明であることや、建替えの方がより耐震性や経済性の優れた庁舎とすることが可能であることから、建替えにより新市庁舎を整備することを平成28年度に決定しております。

(担当課：契約管理課)

■新市庁舎の構造や機能について

- ・コンビニエンスストア、食堂、ATM等を新市庁舎の中に整備してほしい。
 - ・ボイラ室等を地下以外に設置する等、災害に強い新市庁舎を建設してほしい。
-

【回答】

新市庁舎の規模や構造、あり方、求められる機能については、今後の構想、計画、設計の各段階において具体的に検討いたします。貴重なご意見として承ります。

(担当課：契約管理課)